議会トピックス

まちづくりのヒントを求めて、先進地を視察

議会では、先進的な取り組みを学ぶため、各地への視察を行っています。
９月までに実施した視察の内容を紹介します。今回の視察で得た学びを、今後の議会活動に生かしていきます。

● 教育福祉常任委員会　7月 28 日・29 日



東京都大田区　高齢者の緊急時に備え「見守りキーホルダー」を交付し、迅速な情報提供で安心を支えている。また、相続や遺言など終末期の備えを支援する「老いじたく支援」として、ガイドブックの作成や相談会を行っている。

神奈川県海老名市　表面化しにくいヤングケアラー支援として、福祉・教育・社協が連携した「支援対応連絡会」を設置。「気づきシート」での情報の共有や連携、また LINE 相談で子ども自身が課題に気づける支援を強化している。

● 議会運営委員会　7月 21 日・22 日



神奈川県茅ヶ崎市議会　常任委員会が専門調査に基づき提言書を市長へ提出。決算審査では事業評価も実施し、新年度予算への反映を求めるなど、議会の提言が市政に直結する強固な仕組みを構築している。

神奈川県寒川町議会　「常任委員会協議会」での議員間討議を通じた政策形成機能を強化。２年任期での調査研究成果を「政策提言書」として町長へ提出する実効的なサイクルを確立している。

神奈川県海老名市議会　議会基本条例の実効性を保つため、改選ごとに「議会基本条例検証等検討会」を設置。全議員参加で綿密な協議を通じ、条例を検証・改善する仕組みを確立している。

● 環境建設常任委員会　7月 16 日・17 日



いわゆる「ごみ屋敷」問題は、所有者の福祉的課題を伴うことが多く、複数部署の連携と再発防止策まで踏み込んだ対応が重要である。

福島県郡山市　行政代執行が可能な「ごみ屋敷条例」を 2015 年に施行し、４件の代執行を実施している。撤去費用は所有者の負担である。

埼玉県草加市　2017 年に施行した「家屋及び土地の適正管理に関する条例」で管理不全や生活環境保全に対応している。所有者不明による解決長期化などが課題となっている。

● 広報常任委員会　6月 29 日・30 日



「議会だより」は、市民の議会への関心と理解を深めるため、興味を引く工夫が肝要である。

神奈川県開成町議会　カラフルな紙面と特徴的なホームページの連携に加え、一般質問を行う議員のビフォーアフター動画で関心を喚起している。

東京都瑞穂町議会　町内団体との対談や町民インタビューなど町民参加型の紙面づくりや、お得情報の掲載で読者の興味を引きつける工夫を行っている。

編集後記

数字の先には、市民の暮らしがあります。決算審査では、税金がどう使われ暮らしに役立ったのかを確かめました。現場にも足を運び、地域の交流や学校での学びを支える取組に触れました。成果だけでなく課題も捉え次の予算や施策に生かすことが議会の大切な役割です。

また、補正予算では、学生等の学習スペースの整備や、高齢者へのタクシー券支給の増額などについて審査しました。学びの場の確保や物価高騰への対応が市民の暮らしをどう支えるのか。事業の必要性や効果を確かめる視点も欠かせません。この議会だよりを通じて、市政の動きと議会の議論を分かりやすくお伝えし、市民の皆さんと議会をつないでいきたいと思います。

意見や身近な困り事も、ぜひ議会へお寄せください。（出澤）

■発行・編集　広報常任委員会
委員長　水梨　伸晃
副委員長　伊藤　知子
委員　石原　幸雄
大森　和夫
塚原　正彦
出澤　大
加藤　政之

〒300-1292
牛久市中央3丁目15番地1
TEL 029-873-2111
（牛久市議会事務局）